

ワシントン州：小麦作柄と気象状況 2011年5月1日現在

概況 ワシントン州東部の2011年5月1日に終わる1週間の気象は、前週から引き続き降雨を伴う低温気象であった。週末になり天候が回復したが、各地の平均気温は平年を4~9度F下回った。EC地区の1週間の降水量は0.07~0.24インチであった。SE地区の1週間の降水量は0.09~0.53インチと報告された。各地の最高気温は61~66度Fであった。1週間の州平年農作業稼働日数は4.7日(前週:4.9日)であった。Topsoilの土壌水分は全州の44%の圃場にて“Surplus”の状態であった。EC地区では度々降雪があり、気温の上昇が望まれた。各地での除草剤と対病害への薬剤散布が遅れた。乾燥地帯であるDouglas及びGrant郡の冬小麦にSnow mould(紅色雪腐れ病)の発生が報告された。Whitman郡の春小麦の播種は大幅な遅れを出していた。冬小麦の作柄は天候不順と低温の為前週より落ち、評価は昨年より低くなった。春小麦の播種は遅れており、全州の60%(昨年同期:91%、5年平均:78%)にて完了したが、これ以上の遅れは成熟期間の不足となる危惧が農家に広まっていた。因みに出芽圃場は播種圃場の28%(昨年同期:70%、5年平均:49%)であった。

2011年5月1日現在：土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	2	54	44
	Last week	0	3	65	32
	5-Yr Ave.	1	9	76	14
Subsoil	This week	0	5	89	6
	Last week	1	4	90	5
	5-Yr Ave.	5	21	71	3
Irrigation	This week	0	0	81	19
	Last week	0	0	82	18
	5-Yr Ave.	0	2	94	4

2011年5月1日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	3	22	52	22
Last week	0	1	11	60	28
Last year	1	4	16	63	16

2011年5月1日現在：春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	60	45	91	78
Emerged	28	17	70	49

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, NASS, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。 1

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.